

授業科目(英名)： 医療薬学 演習 (Seminar in Clinical Pharmacy)

対象学年：1・2・3・4 年 通年 1 単位 計 4 単位 担当者：京谷庄二郎

(徳島)キャンパス：選択必修

【専門領域分野】 医療・薬物療法分野**【授業概要】**

大学院生各自が研究関連分野の学術雑誌から文献を選択し、その内容について紹介する。各自研究テーマに沿って得られた成果を発表する。

【養成したい人材像と履修目標】

自ら研究課題に関して批判的・論理的に問題点を発見する能力、問題点を解決するための方法を立案出来、得られた成果を考察できる人材の育成を目指す。

【関連授業科目および連携】

「医療薬学専門研究」：医療薬学専門研究を通して得られる実践的な知識と本演習の学習内容が連携し、体系的な研究能力の獲得を目指す。

【評価方法】 日頃の発表 (60%)・セミナー (40%) での積極的な討論参加を総合的に評価する。

【学習方法】 関連論文のレジメ作成・発表・討論、研究内容のレジメ作成・発表・討論

【講義計画】

	項目	授業内容	担当者
1	学術論文演習	医療・薬物療法に関する最新の英語論文を紹介し討論する。	京谷
2	学術論文演習	医療・薬物療法に関する最新の英語論文を紹介し討論する。	京谷
3	学術論文演習	医療・薬物療法に関する最新の英語論文を紹介し討論する。	京谷
4	学術論文演習	DDSに関する最新の英語論文を紹介し討論する。	京谷
5	学術論文演習	天然資源の医療への応用に関する英語論文を紹介し討論する。	京谷
6	学術論文演習	天然資源の医療への応用に関する英語論文を紹介し討論する。	京谷
7	学術論文演習	医薬品の適正使用に関する最新の英語論文を紹介し討論する。	京谷
8	研究発表演習	大学院生の研究内容を紹介し、討論する。	京谷
9	研究発表演習	大学院生の研究内容を紹介し、討論する。	京谷
10	研究発表演習	大学院生の研究内容を紹介し、討論する。	京谷
11	研究発表演習	大学院生の研究内容について紹介し、討論する。	京谷
12	研究発表演習	大学院生の研究内容について紹介し、討論する。	京谷
13	研究発表演習	大学院生の研究内容について紹介し、討論する。	京谷
14	研究発表演習	大学院生の研究内容について紹介し、討論する。	京谷
15	総合討論	医療・薬物療法研究の展望と総括	京谷

【教育資料・参考資料】

適宜、英語論文など。

【備考】

医療薬学教室・京谷研に配属される大学院生は本演習科目を取得することが必須となります。

授業科目(英名):機能形態学 薬学演習 (Seminar in Structure and Function)

対象学年：1・2・3・4 年 通年 1 単位 計 4 単位 担当者：井上正久

(徳島)キャンパス：選択必修

【専門領域分野】 医薬品開発・高度医療分野**【授業概要】**

大学院生が各自の研究テーマに関する英語論文を読み、その内容についてまとめて発表する英語論文の紹介セミナーおよび自分自身の研究内容についてまとめて発表する研究報告セミナーをおこなう。

【養成したい人材像と履修目標】

自分の研究テーマに関する英語論文を読み、内容を的確に把握、批判的に考察できる人材の育成を目指す。また自分の研究内容を的確にまとめ、論理的にプレゼンテーションかつ討論できる能力のある人材の育成を目指す。

【関連授業科目および連携】

「機能形態学 薬学専門研究」：本演習を通して得られる知識をもとに、機能形態学 薬学専門研究で実践的な研究を行い、フィードバックをかけることによって、体系的な研究能力の獲得を目指す。

【評価方法】 発表・レジメ・討論 (60%) および態度(40%)**【学習方法】** 英語関連論文のレジメ作成・発表・討論、研究内容のレジメ作成・発表・討論**【講義計画】**

	項目	授業内容	担当者
1	論文紹介セミナー	自分の研究テーマに関わる英語論文を紹介し討論する。	井上
2		自分の研究テーマに関わる最新の研究手法を紹介し討論する。	井上
3		自分の研究テーマに関わる英語論文を紹介し討論する。	井上
4		自分の研究テーマに関わる最新の研究手法を紹介し討論する。	井上
5		自分の研究テーマに関わる英語論文を紹介し討論する。	井上
6		自分の研究テーマに関わる最新の研究手法を紹介し討論する。	井上
7	機能形態学 研究発表演習	自分自身の研究内容について紹介し、討論する。	井上
8		自分自身の研究内容について紹介し、討論する。	井上
9		自分自身の研究内容について紹介し、討論する。	井上
10		自分自身の研究内容について紹介し、討論する。	井上
11		自分自身の研究内容について紹介し、討論する。	井上
12		自分自身の研究内容について紹介し、討論する。	井上
13		自分自身の研究内容について紹介し、討論する。	井上
14	総合討論	研究の総括と今後の展望	井上
15	総合討論	研究の総括と今後の展望	井上

【教育資料・参考資料】

適宜、英語論文など。

【備考】 機能形態学教室に配属される大学院生は本演習科目を取得することが必須となります。

授業科目(英名)： 微生物学 薬学演習 (Seminar in Microbiology)

対象学年：1・2・3・4 年 通年 1 単位 計 4 単位 担当者：永浜政博

(徳島)キャンパス：選択必修

【専門領域分野】健康・高齢者医療分野

【授業概要】

大学院生が最新の微生物学関連の英語論文を読み、その内容についてまとめて内容を発表する英語論文の紹介セミナーと、大学院生の研究内容についてまとめて発表する研究報告セミナーよりなる。

【養成したい人材像と履修目標】

微生物学・感染症・毒素の作用・生体防御に関する英語論文を読み、内容を的確に把握、批判的に考察できる人材の育成を目指す。また自分の研究内容を的確にまとめ、論理的にプレゼンテーションし尚且つ討論できる能力のある人材の育成を目指す。

【関連授業科目および連携】

「微生物学 薬学専門研究」：微生物学 薬学専門研究を通して得られる実践的な知識と本演習の学習内容が連携し、体系的な研究能力の獲得を目指す。

【評価方法】発表・レジメ・討論 (60%) および態度(40%)

【学習方法】英語関連論文のレジメ作成・発表・討論、研究内容のレジメ作成・発表・討論

【講義計画】

	項目	授業内容	担当者
1	微生物学英語論文演習	感染症(1)に関する最新の英語論文を発表し討論する。	永浜
2	微生物学英語論文演習	感染症(2)に関する最新の英語論文を発表し討論する。	永浜
3	微生物学英語論文演習	感染と毒素(1)に関する最新の英語論文を発表し討論する。	永浜
4	微生物学英語論文演習	感染と毒素(2)に関する最新の英語論文を発表し討論する。	永浜
5	微生物学英語論文演習	毒素の作用(1)に関する最新の英語論文を発表し討論する。	永浜
6	微生物学英語論文演習	毒素の作用(2)に関する最新の英語論文を発表し討論する。	永浜
7	微生物学英語論文演習	生体防御(1)に関する最新の英語論文を発表し討論する。	永浜
8	微生物学英語論文演習	生体防御(2)に関する最新の英語論文を発表し討論する。	永浜
9	研究報告セミナー演習	大学院生本人の研究内容(1)をまとめて発表し、討論する。	永浜
10	研究報告セミナー演習	大学院生本人の研究内容(2)をまとめて発表し、討論する。	永浜
11	研究報告セミナー演習	大学院生本人の研究内容(3)をまとめて発表し、討論する。	永浜
12	研究報告セミナー演習	大学院生本人の研究内容(4)をまとめて発表し、討論する。	永浜
13	研究報告セミナー演習	大学院生本人の研究内容(5)をまとめて発表し、討論する。	永浜
14	研究報告セミナー演習	大学院生本人の研究内容(6)をまとめて発表し、討論する。	永浜
15	総合討論	微生物学と研究内容の今後の展望と総括	永浜

【教育資料・参考資料】

適宜、英語論文など。

【備考】微生物学教室に配属される大学院生は本演習科目を取得することが必須となります。

授業科目(英名)： 生化学 薬学演習 (Seminar in Biochemistry)

対象学年：1・2・3・4 年 通年 1 単位 計 4 単位 担当者：葛原 隆・畠山 大

(徳島)キャンパス：選択必修

【専門領域分野】 医療解析・医療安全分野**【授業概要】**

大学院生が最新の英語論文を読み、その内容についてまとめて内容を発表する英語論文の紹介セミナーと、大学院生の研究内容についてまとめて発表する研究報告セミナーよりなる。

【養成したい人材像と履修目標】

生化学・分子生物学に関する英語論文を読み、内容を的確に把握、批判的に考察できる人材の育成を目指す。また自分の研究内容を的確にまとめ、論理的にプレゼンテーションし尚且つ討論できる能力のある人材の育成を目指す。

【関連授業科目および連携】

「生化学 薬学専門研究」：生化学 薬学専門研究を通して得られる実践的な知識と本演習の学習内容が連携し、体系的な研究能力の獲得を目指す。

【評価方法】 発表・レジメ・討論 (60%) および態度(40%)**【学習方法】** 英語関連論文のレジメ作成・発表・討論、研究内容のレジメ作成・発表・討論**【講義計画】**

	項目	授業内容	担当者
1	生化学英語論文演習	生物学に関する最新の英語論文について紹介し討論する。	葛原・畠山
2	生化学英語論文演習	生化学に関する最新の英語論文について紹介し討論する。	葛原・畠山
3	生化学英語論文演習	分子生物学に関する最新の英語論文について紹介し討論する。	葛原・畠山
4	生化学英語論文演習	インフルエンザに関する英語論文について紹介し討論する。	葛原・畠山
5	生化学英語論文演習	タミフルに関する最新の英語論文について紹介し討論する。	葛原・畠山
6	生化学英語論文演習	ミツバチに関する最新の英語論文について紹介し討論する。	葛原・畠山
7	生化学英語論文演習	お茶に関する最新の英語論文について紹介し討論する。	葛原・畠山
8	生化学研究発表演習	大学院生本人の研究内容について紹介し、討論する。	葛原・畠山
9	生化学研究発表演習	大学院生本人の研究内容について紹介し、討論する。	葛原・畠山
10	生化学研究発表演習	大学院生本人の研究内容について紹介し、討論する。	葛原・畠山
11	生化学研究発表演習	大学院生本人の研究内容について紹介し、討論する。	葛原・畠山
12	生化学研究発表演習	大学院生本人の研究内容について紹介し、討論する。	葛原・畠山
13	生化学研究発表演習	大学院生本人の研究内容について紹介し、討論する。	葛原・畠山
14	生化学研究発表演習	大学院生本人の研究内容について紹介し、討論する。	葛原・畠山
15	総合討論	生化学・分子生物学研究の展望と総括	葛原・畠山

【教育資料・参考資料】

適宜、英語論文など。

【備考】 生化学教室に配属される大学院生は本演習科目を取得することが必須となります。

授業科目(英名)： 医療薬学 薬学演習 (Seminar in Clinical Pharmacy)

対象学年：1・2・3・4 年 通年 1 単位 計 4 単位 担当者：吉岡三郎

(徳島)キャンパス：選択必修

【専門領域分野】 医療・薬物療法分野**【授業概要】**

最新の研究関連分野の英語論文を読み、その内容について発表する論文セミナー、研究成果の進捗状況について討論する研究報告セミナーよりなる。

【養成したい人材像と履修目標】

最新の研究関連分野の英語論文を読み、内容を的確に把握、考察できる人材の育成を目指す。また研究内容を的確にまとめ、論理的にプレゼンテーションしかつ討論できる能力のある人材の育成を目指す。

【関連授業科目および連携】

「地域医療薬学専門研究」：地域医療薬学専門研究を通して得られる実践的な知識と本演習の学習内容が連携し、体系的な研究能力の獲得を目指す。

【評価方法】 発表内容・レジメ・討論 (60%) および態度 (40%)**【学習方法】** 学術論文のレジメ作成・発表・討論、研究内容のレジメ作成・発表・討論。**【講義計画】**

	項目	授業内容	担当者
1	学術論文演習	薬物療法に関する最新の学術論文について紹介し討論する。	吉岡
2	学術論文演習	薬物療法に関する最新の学術論文について紹介し討論する。	吉岡
3	学術論文演習	在宅医療に関する最新の学術論文について紹介し討論する。	吉岡
4	学術論文演習	在宅医療に関する最新の学術論文について紹介し討論する。	吉岡
5	学術論文演習	災害時医療に関する最新の学術論文について紹介し討論する。	吉岡
6	学術論文演習	医療経済に関する最新の学術論文について紹介し討論する。	吉岡
7	学術論文演習	終末期医療に関する最新の学術論文について紹介し討論する。	吉岡
8	研究発表演習	大学院生本人の研究内容について紹介し、討論する。	吉岡
9	研究発表演習	大学院生本人の研究内容について紹介し、討論する。	吉岡
10	研究発表演習	大学院生本人の研究内容について紹介し、討論する。	吉岡
11	研究発表演習	大学院生本人の研究内容について紹介し、討論する。	吉岡
12	研究発表演習	大学院生本人の研究内容について紹介し、討論する。	吉岡
13	研究発表演習	大学院生本人の研究内容について紹介し、討論する。	吉岡
14	研究発表演習	大学院生本人の研究内容について紹介し、討論する。	吉岡
15	総合討論	医療・薬物療法研究の展望と総括	吉岡

【教育資料・参考資料】

適宜、英語論文など。

【備考】 医療薬学教室吉岡研に配属される大学院生は本演習科目を取得することが必須となります。

授業科目(英名)：薬化学 薬学演習 (Seminar in Pharmaceutical Chemistry)

対象学年：1・2・3・4年 通年1単位 計4単位 担当者：吉田昌裕・松本健司

(徳島)キャンパス：選択必修

【専門領域分野】医薬品開発・高度医療分野

【演習概要】

重要な生理活性を持つ微量化合物を範として創薬研究を行うためには、合成化学の力を借りて目的とする化合物を得なければならない。この講義では、標的化合物を如何に効率良く合成するか、について素反応の開発、方法論(合成戦略)の確立、さらに応用展開まで広範かつ緻密に解説する。また、活性天然物の探索法ならびに医薬品化学についても概説する。

【養成したい人材像と履修目標】

有機合成化学に関する論文を熟読し、内容の深奥を極め、的確に議論できる人材、さらに自身の実験研究内容についても総合的にまとめ、論理的に説明でき、討論の場でも的確な返答ができる能力のある人材および外国人研究者を適宜招請し英語での議論ができる国際性を身に着けた創薬研究者としての人材育成を目指す。

【関連授業科目および連携】

「薬化学 専門研究」：薬化学専門研究を通じてえられる知識・技能・態度と本演習は密接に連携し、国際的視野に立った総合的、体系的な研究能力獲得を目指す。

【評価方法】発表・討論・総括・英語力(60%)および研究態度(40%)

【学習方法】英語論文および実験研究結果要旨作成・討論、総括、英語での発表・議論

【講義計画】

	項目	授業内容	担当者
1	薬化学英語論文演習	新規合成反応の開発-1	吉田・松本
2	薬化学英語論文演習	新規合成反応の開発-2	吉田・松本
3	薬化学英語論文演習	新規合成反応の応用展開-1	吉田・松本
4	薬化学英語論文演習	新規合成反応の応用展開-2	吉田・松本
5	薬化学英語論文演習	生理活性天然物の全合成-1	吉田・松本
6	薬化学英語論文演習	生理活性天然物の全合成-2	吉田・松本
7	薬化学英語論文演習	生理活性天然物の全合成-3	吉田・松本
8	薬化学研究発表演習	遷移金属触媒反応-1	吉田・松本
9	薬化学研究発表演習	遷移金属触媒反応-2	吉田・松本
10	薬化学研究発表演習	遷移金属触媒反応の有機合成への応用-1	吉田・松本
11	薬化学研究発表演習	遷移金属触媒反応の有機合成への応用-2	吉田・松本
12	薬化学研究発表演習	研究内容発表・討論	吉田・松本
13	薬化学研究発表演習	研究内容発表・討論	吉田・松本
14	薬化学研究発表演習	研究内容発表・討論	吉田・松本
15	総合討論	薬化学研究の展望と総括	吉田・松本

【教育資料・参考資料】

適宜 英語論文.

【備考】

薬化学教室に配属される大学院生は本演習科目を取得することが必須となります。

授業科目(英名)： 遺伝情報学 薬学演習 (Seminar in Genetic Information)

対象学年：1・2・3・4 年 通年 1 単位 計 4 単位 担当者：高橋 宏暢

(徳島)キャンパス：選択必修

【専門領域分野】医療解析・医療安全分野

【授業概要】

大学院生が最新の英語論文を読み、その内容についてまとめて内容を発表する英語論文の紹介セミナーと、大学院生の研究内容についてまとめて発表する研究報告セミナーよりなる。

【養成したい人材像と履修目標】

植物や微生物が産生する生理活性天然物に関する英語論文、植物や微生物が生産する 2 次代謝産物の生合成に関連する英語論文を読み、内容を理解し、考察できる人材の育成を目指す。また自分の研究内容を的確にまとめ、論理的にプレゼンテーションでき、討論できる能力のある人材の育成を目指す。

【関連授業科目および連携】

「遺伝情報学 薬学専門研究」：遺伝情報学 薬学専門研究を通して得られる実践的な知識と本演習の学習内容が連携し、体系的な研究能力の獲得を目指す。

【評価方法】発表・レジメ・討論 (80%) および態度(20%)

【学習方法】英語関連論文のレジメ作成・発表・討論、研究内容のレジメ作成・発表・討論

【講義計画】

	項目	授業内容	担当者
1	遺伝情報学英語論文演習	生理活性天然物に関する英語論文について紹介討論する。	高橋
2	遺伝情報学英語論文演習	生理活性天然物に関する英語論文について紹介討論する。	高橋
3	遺伝情報学英語論文演習	2 次代謝産物の生合成に関する英語論文について紹介討論する。	高橋
4	遺伝情報学英語論文演習	2 次代謝産物の生合成に関する英語論文について紹介討論する。	高橋
5	遺伝情報学英語論文演習	酵素機能解析に関する英語論文について紹介討論する。	高橋
6	遺伝情報学英語論文演習	酵素機能解析に関する英語論文について紹介討論する。	高橋
7	遺伝情報学研究発表	大学院生本人の研究内容について紹介し、討論する。	高橋
8	遺伝情報学研究発表	大学院生本人の研究内容について紹介し、討論する。	高橋
9	遺伝情報学研究発表	大学院生本人の研究内容について紹介し、討論する。	高橋
10	遺伝情報学研究発表	大学院生本人の研究内容について紹介し、討論する。	高橋
11	総合討論	遺伝情報学研究の結果と考察、総括	高橋
12	総合討論	遺伝情報学研究の結果と考察、総括	高橋
13	総合討論	遺伝情報学研究の結果と考察、総括	高橋
14	総合討論	遺伝情報学研究の結果と考察、総括	高橋
15	総合討論	遺伝情報学研究の結果と考察、総括	高橋

【教育資料・参考資料】

適宜、英語論文など。

【備考】遺伝情報学教室に配属される大学院生は本演習科目を取得することが必須となります。

授業科目(英名)： 機能分子化学 薬学演習 (Seminar in Chemistry of Functional Molecules)

対象学年：1・2・3・4 年 通年 1 単位 計 4 単位 担当者：今川 洋・山本博文

(徳島)キャンパス：選択必修

【専門領域分野】 医薬品開発・高度医療分野

【授業概要】

大学院生が最新の英語論文を読み、その内容についてまとめて内容を発表する英語論文の紹介セミナーと、大学院生の研究内容についてまとめて発表する研究報告セミナーよりなる。

【養成したい人材像と履修目標】

有機合成化学・機能性分子合成化学に関する英語論文を読み、内容を的確に把握、それを聴衆に伝える事ができ、さらに論文中に隠れた問題点や、疑問点を発見し、考察できる人材の育成を目指す。また自分の研究内容を的確にまとめ、分かり易くプレゼンテーションし、且つ討論できる能力のある人材の育成を目指す。

【関連授業科目および連携】

「機能分子化学 薬学専門研究」：機能分子化学 薬学専門研究を通して得られる実践的な知識や技術と、本演習の学習内容を連携して、実践的で高度な研究能力の獲得を目指す。

【評価方法】 発表・発表資料・討論 (60%) および態度(40%)

【学習方法】 英語関連論文の内容発表資料作成・発表・討論、研究内容の発表資料作成・発表・討論

【講義計画】

	項目	授業内容	担当者
1	機能分子化学英語論文演習	自らの研究課題に関連する最新の英語論文を紹介し、その内容を討論する。	今川, 山本
2	機能分子化学英語論文演習	新規反応に関する最新の英語論文を紹介し、その内容を討論する。	今川, 山本
3	機能分子化学英語論文演習	生理活性天然物の合成に関する最新の英語論文を紹介し、その内容を討論する。	今川, 山本
4	機能分子化学英語論文演習	機能性分子の合成に関する最新の英語論文を紹介し、その内容を討論する。	今川, 山本
5	機能分子化学英語論文演習	機能性分子の合成に関する最新の英語論文を紹介し、その内容を討論する。	今川, 山本
6	機能分子化学英語論文演習	阻害剤設計に関する最新の英語論文を紹介し、その内容を討論する。	今川, 山本
7	機能分子化学英語論文演習	生物活性評価に関する最新の英語論文を紹介し、その内容を討論する。	今川, 山本
8	機能分子化学研究発表演習	大学院生本人の研究の進捗状況について紹介し、問題点を討論する。	今川, 山本
9	機能分子化学研究発表演習	大学院生本人の研究の進捗状況について紹介し、問題点を討論する。	今川, 山本
10	機能分子化学研究発表演習	大学院生本人の研究の進捗状況について紹介し、問題点を討論する。	今川, 山本

11	機能分子化学研究発表演習	大学院生本人の研究の進捗状況について紹介し、問題点を討論する。	今川 山本
12	機能分子化学研究発表演習	大学院生本人の研究の進捗状況について紹介し、問題点を討論する。	今川 山本
13	機能分子化学研究発表演習	大学院生本人の研究の進捗状況について紹介し、問題点を討論する。	今川 山本
14	機能分子化学研究発表演習	大学院生本人の研究成果について紹介し、成果のまとめ方について討論する。	今川 山本
15	総合討論	機能分子化学研究の研究成果発表し、今後の展望と成果の意義についてまとめる。	今川 山本

【教育資料・参考資料】

適宜、英語論文など。

【備考】 機能分子化学教室に配属される大学院生は本演習科目を取得することが必須となります。

授業科目(英名)： 医療薬学 薬学演習 (Seminar in Clinical Pharmacy)

対象学年：1・2・3・4 年 通年 1 単位 計 4 単位 担当者：庄野文章

(徳島)キャンパス：選択必修

【専門領域分野】医療・薬物療法分野

【授業概要】

大学院生が最新の英語論文を読み、その内容についてまとめて内容を発表する英語論文の紹介セミナーと、大学院生の研究内容についてまとめて発表する研究報告セミナーよりなる。

【養成したい人材像と履修目標】

病院薬剤学に関する英語論文を読み、内容を的確に把握、批判的に考察できる人材の育成を目指す。また自分の研究内容を的確にまとめ、論理的にプレゼンテーションし尚且つ討論できる能力のある人材の育成を目指す。

【関連授業科目および連携】

「病院薬剤学 薬学専門研究」：病院薬剤学 薬学専門研究を通して得られる実践的な知識と本演習の学習内容が連携し、体系的な研究能力の獲得を目指す。

【評価方法】発表・レジメ・討論 (60%) および態度(40%)

【学習方法】英語関連論文のレジメ作成・発表・討論、研究内容のレジメ作成・発表・討論

【講義計画】

	項目	授業内容	担当者
1	病院薬剤学英語論文演習	がん治療（がん専門薬剤師）に関する最新の英語論文について紹介し討論する。	庄野
2	病院薬剤学英語論文演習	院内感染（感染制御薬剤師）に関する最新の英語論文について紹介し討論する。	庄野
3	病院薬剤学英語論文演習	リスクマネージメント（医療過誤）に関する最新の英語論文について紹介し討論する。	庄野
4	病院薬剤学英語論文演習	リスクマネージメント（調剤過誤）に関する英語論文について紹介し討論する。	庄野
5	病院薬剤学英語論文演習	適正使用（抗菌薬）に関する最新の英語論文について紹介し討論する。	庄野
6	病院薬剤学英語論文演習	適正使用（鎮痛薬）に関する最新の英語論文について紹介し討論する。	庄野
7	病院薬剤学英語論文演習	適応外使用に関する最新の英語論文について紹介し討論する。	庄野
8	病院薬剤学研究発表演習	大学院生本人の研究内容について紹介し、討論する。	庄野
9	病院薬剤学研究発表演習	大学院生本人の研究内容について紹介し、討論する。	庄野
10	病院薬剤学研究発表演習	大学院生本人の研究内容について紹介し、討論する。	庄野
11	病院薬剤学研究発表演習	大学院生本人の研究内容について紹介し、討論する。	庄野
12	病院薬剤学研究発表演習	大学院生本人の研究内容について紹介し、討論する。	庄野
13	病院薬剤学研究発表演習	大学院生本人の研究内容について紹介し、討論する。	庄野
14	病院薬剤学研究発表演習	大学院生本人の研究内容について紹介し、討論する。	庄野
15	総合討論	病院薬剤学研究の展望と総括	庄野

【教育資料・参考資料】

適宜、英語論文など。

【備考】医療薬学教室に配属される大学院生は本演習科目を取得することが必須となります。

本専門研究を遂行するために医療現場に出向することもある。

授業科目(英名)： 医療薬学演習 (Medical Pharmacology)

対象学年：1・2・3・4 年 通年 1 単位 計 4 単位 担当者：松永洋一

(徳島)キャンパス：選択必修

【専門領域分野】医療・薬物療法分野

【授業概要】

大学院生は主に認知症性疾患およびパーキンソン病などの脳内神経細胞変性疾患についての最新の検査・診断・治療についての英語抄読をし、その内容についてセミナーで発表するとともに、特に国内での新薬治験の現状と照らし合わせ現況の調査研究を行い、今後の新規治療法の方向性を検討する。

【養成したい人材像と履修目標】

臨床医・薬学分野に関する英語論文が読め、内容を的確に理解し、国内の現状との違いが把握でき、今後の薬物治療の方向性につき建設的な意見が述べられる人材の育成を目指す。また自分の調査研究内容を的確にまとめ、論理的にプレゼンテーションし尚且つ討論できる能力のある人材の育成を目指す。

【関連授業科目および連携】

「医療薬学 薬学専門研究」:医療薬学 薬学専門研究を通して得られる知識と本演習の学習内容が連携し、体系的な研究能力の獲得を目指す。

【評価方法】発表・レジュメ・討論 (60%) および態度(40%)

【学習方法】英語関連論文のレジュメ作成・発表・討論、研究内容のレジュメ作成・発表・討論

【講義計画】

	項目	授業内容	担当者
1	臨床検査学分野の英語論文演習 (1)	最新話題の生化学的臨床検査に関する英語論文について紹介し討論する。	松永
2	臨床検査学分野の英語論文演習 (2)	最近話題の画像検査法に関する最新の英語論文について紹介し討論する。	松永
3	臨床検査学分野の英語論文演習 (3)	将来臨床応用が検討されている各種疾患の検査法に関する最新の英語論文について紹介し討論する。	松永
4	認知症性疾患分野の英語論文演習 (1)	認知症性疾患の臨床像に関する最新の英語論文について紹介し討論する。	松永
5	認知症性疾患分野の英語論文演習 (2)	認知症性疾患の治療に関する最新の英語論文について紹介し討論する。	松永
6	脳内神経変性分野の英語論文演習	パーキンソン病の臨床像に関する最新の英語論文について紹介し討論する。	松永
7	脳内神経変性分野の英語論文演習	パーキンソン病の治療法に関する最新の英語論文について紹介し討論する。	松永
8	臨床治験の英語論文演習 (1)	アルツハイマー病に関する治験について紹介し、討論する。	松永
9	臨床治験の英語論文演習 (2)	パーキンソン病に関する治験について紹介し、討論する。	松永
10	臨床医学・薬学分野の英語論文演習	大学院生本人の研究内容について紹介し、討論する。	松永

11	臨床医学・薬学分野の英語論文演習	大学院生本人の研究内容について紹介し、討論する。	松永
12	臨床医学・薬学分野の英語論文演習	大学院生本人の研究内容について紹介し、討論する。	松永
13	臨床医学・薬学分野の英語論文演習	大学院生本人の研究内容について紹介し、討論する。	松永
14	臨床医学・薬学分野の英語論文演習	大学院生本人の研究内容について紹介し、討論する。	松永
15	総合討論	脳内変性疾患の展望と総括	松永

【教育資料・参考資料】

適宜、英語論文など。

【備考】 医療薬学教室（松永研）に配属される大学院生は本演習科目を取得することが必須となります。

授業科目(英名)： 病態分子薬理学 薬学演習 (Seminar in Molecular and Cellular Physiology)

対象学年：1・2・3・4年 通年1単位 計4単位 担当者：深田俊幸，原貴史

(徳島)キャンパス：選択必修

【専門領域分野】医薬品開発・高度医療分野

【授業概要】

英語の原著論文や総説論文を読んでその内容について発表する論文抄読会(Journal Club)と、個々の研究成果の進捗状況について発表して議論する研究報告会(Progress report)を行う。

【養成したい人材像と履修目標】

- 1：英語の原著論文や総説論文を正確に読み、内容を理解して論理的に考察できる人材の育成
- 2：論文内容や研究内容を的確に整理し、論理的に発表して議論できる人材の育成

【関連授業科目および連携】

「病態分子薬理学 薬学専門研究」：病態分子薬理学 薬学専門研究を通して得られる実践的な知識と本演習の学習内容が連携し、体系的な研究能力の獲得を目指す。

【評価方法】発表・レジュメ・討論(90%) および態度(10%)

【学習方法】学術論文のレジュメ作成・発表・討論、研究内容のレジュメ作成・発表・討論

【講義計画】

	項目	授業内容	担当者
1	シグナル伝達英語論文演習	シグナル伝達に関する学術論文について紹介して議論する。	深田，原
2	シグナル伝達英語論文演習	シグナル伝達に関する学術論文について紹介して議論する。	深田，原
3	シグナル伝達英語論文演習	シグナル伝達に関する学術論文について紹介して議論する。	深田，原
4	分子細胞生物学英語論文演習	分子細胞生物学に関する最新の学術論文について紹介して議論する。	深田，原
5	組織発生と再生に関する英語論文演習	組織発生と再生に関する最新の学術論文について紹介して議論する。	深田，原
6	創薬英語論文演習	創薬に関する最新の学術論文について紹介して議論する。	深田，原
7	研究発表演習	研究内容について発表して議論する。	深田，原
8	研究発表演習	研究内容について発表して議論する。	深田，原
9	研究発表演習	研究内容について発表して議論する。	深田，原
10	研究発表演習	研究内容について紹介し、討論する。	深田，原
11	研究発表演習	研究内容について発表して議論する。	深田，原
12	研究発表演習	研究内容について発表して議論する。	深田，原
13	研究発表演習	研究内容について発表して議論する。	深田，原
14	研究発表演習	研究内容について発表して議論する。	深田，原
15	総合討論	シグナル伝達・組織発生と再生・創薬の展望を総括する。	深田，原

【教育資料・参考資料】

適宜、英語論文など。

【備考】 病態分子薬理学研究室に配属される大学院生は本演習科目を取得することが必須となります。

授業科目(英名)：医療薬学 薬学演習 (Seminar in Clinical Pharmacy)

対象学年：1・2・3・4 年 通年 1 単位 計 4 単位 担当者：石田 志朗

(徳島)キャンパス：選択必修

【専門領域分野】 医療・薬物療法分野**【授業概要】**

大学院生が最新の英語論文・総説および海外の添付文書を読み、その内容についてまとめて内容を発表する紹介セミナーと、大学院生の研究内容についてまとめて発表する研究報告セミナーよりなる。

【養成したい人材像と履修目標】

薬物療法、薬剤疫学、EBM、服薬支援に関する英語論文を読み、内容を的確に把握、批判的に考察できる人材の育成を目指す。また自分の研究内容を的確にまとめ、論理的にプレゼンテーションし、さらに臨床の場で医師や他職種と討論できる能力のある人材の育成を目指す。

【関連授業科目および連携】

「医療薬学 薬学専門研究」：医療薬学 薬学専門研究を通して得られる実践的な知識と本演習の学習内容が連携し、体系的な研究能力の獲得を目指す。

【評価方法】 発表・レジメ・討論 (60%) および態度(40%)**【学習方法】** 英語関連論文のレジメ作成・発表・討論、研究内容のレジメ作成・発表・討論**【講義計画】**

	項目	授業内容	担当者
1	薬物療法英語論文演習	薬物療法に関する最新の英語論文について紹介し討論する。	石田
2	薬物療法英語論文演習	薬物療法に関する最新の英語論文について紹介し討論する。	石田
3	薬物療法英語論文演習	薬物療法に関する最新の英語論文について紹介し討論する。	石田
4	薬物療法英語論文演習	薬物療法に関する英語論文について紹介し討論する。	石田
5	薬剤疫学語論文演習	薬剤疫学に関する最新の英語論文について紹介し討論する。	石田
6	薬剤疫学英語論文演習	薬剤疫学に関する最新の英語論文について紹介し討論する。	石田
7	EBM 英語論文演習	EBM に関する最新の英語論文について紹介し討論する。	石田
8	EBM 英語論文演習	EBM に関する最新の英語論文について紹介し討論する。	石田
9	服薬支援英語論文演習	服薬支援に関する最新の英語論文について紹介し討論する。	石田
10	服薬支援英語論文演習	服薬支援に関する最新の英語論文について紹介し討論する。	石田
11	薬物療法研究発表演習	大学院生本人の研究内容について紹介し、討論する	石田
12	薬剤疫学研究発表演習	大学院生本人の研究内容について紹介し、討論する。	石田
13	EBM 研究発表演習	大学院生本人の研究内容について紹介し、討論する。	石田
14	服薬支援研究発表演習	大学院生本人の研究内容について紹介し、討論する。	石田
15	総合討論	医療薬学・薬物療法・薬剤疫学・EBM 研究の展望と総括	石田

【教育資料・参考資料】

適宜、英語論文など。

【備考】 医療薬学教室に配属される大学院生は本演習科目を取得することが必須となります。

授業科目(英名)： 天然薬物学 薬学演習 (Seminar in Medicinal natural products)

対象学年：1・2・3・4 年 通年 1 単位 計 4 単位 担当者：浅川 義範・豊田 正夫・江角 朋之・兼目 裕充

(徳島)キャンパス：選択必修

【専門領域分野】医薬品開発・高度医療分野

【授業概要】

研究植物の理解を深めるための野外演習や機器分析データ解析法演習および大学院生が最新の英語論文を読み、その内容についてまとめて内容を発表する英語論文の紹介セミナーと、大学院生の研究内容についてまとめて発表する研究報告セミナーよりなる。

【養成したい人材像と履修目標】

学位論文作成に向けた演習の一環として、天然物有機化学関連の研究実験、教室セミナー、その他の実習を行うことにより、研究を遂行するために必要な物事の考え方、現象の捉え方などを養う事を目的として行う。習得した専門知識を活用して、学問的な新知見の獲得、新技術の確立を目指す。

【関連授業科目および連携】

「天然薬物学 薬学専門研究」:天然薬物学 薬学専門研究を通して得られる豊富な知識と本演習の学習内容が連携し、体系的な研究能力の獲得を目指す。

【評価方法】発表・レジメ・討論 (60%) および態度(40%)

【学習方法】野外観察、機器分析演習、効率的合成経路の設計、英語関連論文のレジメ作成・発表・討論

【講義計画】

	項目	授業内容	担当者
1	野外演習	研究植物の野外観察、採集	浅川・豊田・江角・兼目
2	野外演習	研究植物について理解する。	浅川・豊田・江角・兼目
3	構造解析学演習	NMR の応用測定方法の演習および解析	浅川・豊田・江角・兼目
4	構造解析学演習	円二色性スペクトルの解析演習	浅川・豊田・江角・兼目
5	構造解析学演習	マススペクトルの解析演習	浅川・豊田・江角・兼目
6	研究発表演習	研究経過報告のプレゼンテーション	浅川・豊田・江角・兼目

7	研究発表演習	研究経過報告のプレゼンテーション	浅川・豊田・江角・兼目
8	合成解析演習	天然物の合成法を各自で考案し、それをもとに議論する。	浅川・豊田・江角・兼目
9	合成解析演習	天然物の合成法を各自で考案し、それをもとに議論する。	浅川・豊田・江角・兼目
10	合成解析演習	天然物の合成法を各自で考案し、それをもとに議論する。	浅川・豊田・江角・兼目
11	合成解析演習	天然物の合成法を各自で考案し、それをもとに議論する。	浅川・豊田・江角・兼目
12	英語論文演習	大学院生本人の研究内容に関連する文献を紹介し、討論する。	浅川・豊田・江角・兼目
13	英語論文演習	大学院生本人の研究内容に関連する文献を紹介し、討論する。	浅川・豊田・江角・兼目
14	研究発表演習	学位論文の作成	浅川・豊田・江角・兼目
15	研究発表演習	学位論文の内容についてプレゼンテーションする。	浅川・豊田・江角・兼目

【教育資料・参考資料】

適宜、英語論文など。

【備考】 天然薬物学教室に配属される大学院生は本演習科目を取得することが必須となります。

オフィスアワー：月曜日 17：00～18：00、金曜日 17：00～18：00、場所：21-1003

授業科目(英名)： 生物有機化学 薬学演習 (Seminar in Bioorganic Chemistry)

対象学年：1・2・3・4年 通年1単位 計4単位 担当者：張 功幸

(徳島)キャンパス：選択必修

【専門領域分野】医薬品開発・高度医療分野

【授業概要】

最新の学術論文を読み、その内容について発表する英語論文セミナー、研究成果の進捗状況について討論する研究報告セミナーよりなる。

【養成したい人材像と履修目標】

最新の学術論文を読み、内容を的確に把握、考察できる人材の育成を目指す。また研究内容を的確にまとめ、論理的にプレゼンテーションし且つ討論できる能力のある人材の育成を目指す。

【関連授業科目および連携】

「生物有機化学 薬学専門研究」：生物有機化学 薬学専門研究を通して得られる実践的な知識と本演習の学習内容が連携し、体系的な研究能力の獲得を目指す。

【評価方法】発表・レジュメ・討論(60%) および態度(40%)

【学習方法】学術論文のレジュメ作成・発表・討論、研究内容のレジュメ作成・発表・討論

【講義計画】

	項目	授業内容	担当者
1	英語論文演習	生体関連分子の合成に関する最新の学術論文を紹介し、討論する。	張
2	英語論文演習	生体関連分子の合成に関する最新の学術論文を紹介し、討論する。	張
3	英語論文演習	生体関連分子の合成に関する最新の学術論文を紹介し、討論する。	張
4	英語論文演習	機能生体分子化学に関する最新の学術論文を紹介し、討論する。	張
5	英語論文演習	機能生体分子化学に関する最新の学術論文を紹介し、討論する。	張
6	英語論文演習	機能生体分子化学に関する最新の学術論文を紹介し、討論する。	張
7	英語論文演習	生体機能化学に関する最新の学術論文を紹介し、討論する。	張
8	英語論文演習	生体機能化学に関する最新の学術論文を紹介し、討論する。	張
9	研究発表演習	大学院生本人の研究内容を紹介し、討論する。	張
10	研究発表演習	大学院生本人の研究内容を紹介し、討論する。	張
11	研究発表演習	大学院生本人の研究内容を紹介し、討論する。	張
12	研究発表演習	大学院生本人の研究内容を紹介し、討論する。	張
13	研究発表演習	大学院生本人の研究内容を紹介し、討論する。	張
14	研究発表演習	大学院生本人の研究内容を紹介し、討論する。	張
15	総合討論	生物有機化学研究の展望と総括	張

【教育資料・参考資料】適宜、英語論文など。

【備考】生物有機化学教室に配属される大学院生は本演習科目を取得することが必須となります。

オフィスアワー：月曜日 17:00～18:00、水曜日 17:00～18:00(場所：24-0904)

授業科目(英名): 分析化学 薬学演習 (Seminar in Analytical Chemistry)

対象学年：1・2・3・4 年 通年 1 単位 計 4 単位 担当者：田中好幸・宗野真和・中島勝幸・
田中正巳

(徳島)キャンパス：選択必修

【専門領域分野】医療解析・医療安全分野

【授業概要】

大学院生が最新の英語論文を読み、その内容についてまとめて内容を発表する英語論文の紹介セミナーと、大学院生の研究内容についてまとめて発表する研究報告セミナーよりなる。

【養成したい人材像と履修目標】

有機化学・天然物化学・生体分析化学・生物物理化学に関する英語論文を読み、内容を的確に把握、批判的に考察できる人材の育成を目指す。また自分の研究内容を的確にまとめ、論理的にプレゼンテーションし、研究を発展的に取り組むことのできる能力のある人材の育成を目指す。

【関連授業科目および連携】

「分析化学 薬学専門研究」:分析化学薬学専門研究を通して得られる実践的な知識と本演習の学習内容が連携し、体系的な研究能力の獲得を目指す。

【評価方法】発表・レジメ・討論（60%）および態度(40%)

【学習方法】英語関連論文解説・発表・討論，研究内容の発表・討論それらの資料作成

【講義計画】

	項目	授業内容	担当者
1	分析化学文献紹介演習	有機化学に関する英語論文について紹介し討論する。	田中好・宗野・ 田中正・中島
2	分析化学文献紹介演習	天然物化学に関する英語論文について紹介し討論する。	田中好・宗野・ 田中正・中島
3	分析化学文献紹介演習	有機反応・有機合成に関する英語論文について紹介し討論する。	田中好・宗野・ 田中正・中島
4	分析化学文献紹介演習	生体分析／生物物理化学に関する英語論文について紹介し討論する。	田中好・宗野・ 田中正・中島
5	分析化学文献紹介演習	一電子還元反応に関する英語論文について紹介し討論する。	田中好・宗野・ 田中正・中島
6	分析化学文献紹介演習	一電子酸化反応に関する英語論文について紹介し討論する。	田中好・宗野・ 田中正・中島
7	分析化学文献紹介演習	反応機構に関する英語論文について紹介し討論する。	田中好・宗野・ 田中正・中島
8	分析化学研究発表演習	大学院生本人の研究内容について紹介し討論する。	田中好・宗野・ 田中正・中島
9	分析化学研究発表演習	大学院生本人の研究内容について紹介し討論する。	田中好・宗野・ 田中正・中島
10	分析化学研究発表演習	大学院生本人の研究内容について紹介し討論する。	田中好・宗野・ 田中正・中島
11	分析化学研究発表演習	大学院生本人の研究内容について紹介し討論する。	田中好・宗野・ 田中正・中島

12	分析化学研究発表演習	大学院生本人の研究内容について紹介し討論する。	田中好・宗野・ 田中正・中島
13	分析化学研究発表演習	大学院生本人の研究内容について紹介し討論する。	田中好・宗野・ 田中正・中島
14	分析化学研究発表演習	大学院生本人の研究内容について紹介し討論する。	田中好・宗野・ 田中正・中島
15	総合討論	有機化学・天然物化学・生化学・分析／物理化学研究の展望と総括	田中好・宗野・ 田中正・中島

【教育資料・参考資料】

適宜、英語論文など。

【備考】 分析化学教室に配属される大学院生は本演習科目を取得することが必須となります。

授業科目(英名)： 生薬学 薬学演習 (Seminar in Pharmacognosy)

対象学年：1・2・3・4 年 通年 1 単位 計 4 単位 担当者：梅山明美, 野路征昭

(徳島)キャンパス：選択必修

【専門領域分野】健康・高齢者医療分野

【授業概要】

英語論文の紹介セミナー：大学院生が最新の生薬・漢方薬および天然物化学に関する英語論文を読み、その内容を要旨にまとめてセミナーで発表する。研究報告セミナー：半期ごとの大学院生の研究内容及び成果についてまとめて発表する。

【養成したい人材像と履修目標】

生薬・漢方薬および天然物化学に関する英語論文を読み、内容を的確に把握、自分の研究に活かせる能力のある人材の育成を目指す。また自分の研究内容を正確で、的確にまとめ、論理的にプレゼンテーションし尚且つ討論できる能力のある人材の育成を目指す。

【関連授業科目および連携】

生薬学の関連授業科目に、医薬品開発・高度医療分野の天然物化学、天然薬物学、薬化学がある。これらの研究室と連携して、実践的な知識と体系的な研究能力の獲得を目指す。

【評価方法】発表・レジュメ・討論(60%) および態度(40%)

【学習方法】英語関連論文のレジュメ作成・発表・討論、研究内容のレジュメ作成・発表・討論

【講義計画】

	項目	授業内容	担当者
1	生薬学英语論文演習	漢方・生薬に関する最新の英語論文について紹介し討論する。	梅山・野路
2	生薬学英语論文演習	漢方・生薬に関する最新の英語論文について紹介し討論する。	梅山・野路
3	生薬学英语論文演習	天然物化学に関する最新の英語論文について紹介し討論する。	梅山・野路
4	生薬学英语論文演習	天然物化学に関する英語論文について紹介し討論する。	梅山・野路
5	生薬学英语論文演習	キノコに関する最新の英語論文について紹介し討論する。	梅山・野路
6	生薬学英语論文演習	キノコに関する最新の英語論文について紹介し討論する。	梅山・野路
7	生薬学英语論文演習	冬虫夏草に関する最新の英語論文について紹介し討論する。	梅山・野路
8	生薬学研究発表演習	大学院生本人の研究内容について紹介し、討論する。	梅山・野路
9	生薬学研究発表演習	大学院生本人の研究内容について紹介し、討論する。	梅山・野路
10	生薬学研究発表演習	大学院生本人の研究内容について紹介し、討論する。	梅山・野路
11	生薬学研究発表演習	大学院生本人の研究内容について紹介し、討論する。	梅山・野路
12	生薬学研究発表演習	大学院生本人の研究内容について紹介し、討論する。	梅山・野路
13	生薬学研究発表演習	大学院生本人の研究内容について紹介し、討論する。	梅山・野路
14	生薬学研究発表演習	大学院生本人の研究内容について紹介し、討論する。	梅山・野路
15	総合討論	漢方・生薬学研究の展望と総括	梅山・野路

【教育資料・参考資料】

適宜、英語論文など。

【備考】生薬学教室に配属される大学院生は本演習科目を取得することが必須となります。

授業科目(英名)： 衛生化学 薬学演習 (Seminar in Molecular Nutrition and Toxicology)

対象学年：1・2・3・4年 通年1単位 計4単位 担当者：姫野誠一郎・角 大悟

(徳島)キャンパス：選択必修

【専門領域分野】健康・高齢者医療分野

【授業概要】

博士論文作成に向けた研究の一環として、分子生物学・毒性学・栄養学などの衛生化学の研究に必要な専門領域の基本的な考え方を身につけ、これらの領域における最新の研究成果を習得することを目指す。

【養成したい人材像と履修目標】

分子生物学・生化学・毒性学・栄養学などの衛生化学に関する英語論文を読み、研究内容および手法を的確に把握し、考察できる人材育成を目指す。また自分の研究内容を的確にまとめ、論理的にプレゼンテーションを行い、討論できる人材の育成を目指す。

【関連授業科目および連携】

「衛生化学 薬学専門研究」：衛生化学 薬学専門研究を通して得られる衛生化学の研究に必要な技法の習得と本演習の学習内容が連携し、体系的な研究能力の獲得を目指す。

【評価方法】発表・レジメ・討論 (60%) および態度(40%)

【学習方法】英語関連論文のレジメ作成・発表・討論、研究内容のレジメ作成・発表・討論

【講義計画】

	項目	授業内容	担当者
1	衛生化学論文演習	カドミウムの毒性に関する英語論文を紹介し討論する。	姫野・角
2	衛生化学論文演習	マンガンの毒性に関する英語論文を紹介し討論する。	姫野・角
3	衛生化学論文演習	ヒ素の毒性に関する最新の英語論文を紹介し討論する。	姫野・角
4	衛生化学論文演習	亜鉛に関する英語論文を紹介し討論する。	姫野・角
5	衛生化学論文演習	鉄に関する最新の英語論文を紹介し討論する。	姫野・角
6	衛生化学論文演習	金属の輸送システムに関する英語論文を紹介し討論する。	姫野・角
7	衛生化学論文演習	ヒ素汚染地域の疫学調査に関する英語論文を紹介し討論する。	姫野・角
8	総説セミナー	大学院生自身が1つのテーマについて総説レベルの論文紹介を行う	姫野・角
9	衛生化学セミナー	大学院生自身が研究内容について紹介し、討論する。	姫野・角
10	衛生化学セミナー	大学院生自身が研究内容について紹介し、討論する。	姫野・角
11	衛生化学セミナー	大学院生自身が研究内容について紹介し、討論する。	姫野・角
12	衛生化学セミナー	大学院生自身が研究内容について紹介し、討論する。	姫野・角
13	衛生化学セミナー	大学院生自身が研究内容について紹介し、討論する。	姫野・角
14	衛生化学セミナー	大学院生自身が研究内容について紹介し、討論する。	姫野・角
15	総合討論	衛生化学研究の展望と総括	姫野・角

【教育資料・参考資料】

適宜、英語論文など。

【備考】衛生化学教室に配属される大学院生は本演習科目を取得することが必須となります。

授業科目(英名)： 天然物化学 薬学演習 (Natural Products
Chemistry-Pharmaceutical Practice)

対象学年：1・2・3・4年 通年1単位 計4単位 担当者：福山 愛保・堂上 美和
(徳島)キャンパス：選択必修

【専門領域分野】 医薬品開発・高度医療分野

【授業概要】

最新の学術論文を読み、その内容について発表する英語論文セミナー、研究成果の進捗状況について討論する研究報告セミナーよりなる。

【養成したい人材像と履修目標】

最新の学術論文を読み、内容を的確に把握、考察できる人材の育成を目指す。また研究内容を的確にまとめ、論理的にプレゼンテーションし且つ討論できる能力のある人材の育成を目指す。

【関連授業科目および連携】

「天然物化学 薬学専門研究」：天然物化学 薬学専門研究を通して得られる実践的な知識と本演習の学習内容が連携し、体系的な研究能力の獲得を目指す。

【評価方法】 発表・レジメ・討論 (60%) および態度(40%)

【学習方法】 学術論文のレジメ作成・発表・討論、研究内容のレジメ作成・発表・討論

【講義計画】

	項目	授業内容	担当者
1	有機化学英語論文演習	有機化学に関する最新の学術論文について紹介し討論する。	福山・堂上
2	有機化学英語論文演習	有機化学に関する最新の学術論文について紹介し討論する。	福山・堂上
3	天然物化学英語論文演習	天然物化学に関する最新の学術論文について紹介し討論する。	福山・堂上
4	天然物化学英語論文演習	天然物化学に関する最新の学術論文について紹介し討論する。	福山・堂上
5	分子生物学英語論文演習	分子生物学に関する最新の学術論文について紹介し討論する。	福山・堂上
6	神経科学英語論文演習	神経科学に関する最新の学術論文について紹介し討論する。	福山・堂上
7	研究発表演習	研究内容について紹介し、討論する。	福山・堂上
8	研究発表演習	研究内容について紹介し、討論する。	福山・堂上
9	研究発表演習	研究内容について紹介し、討論する。	福山・堂上
10	研究発表演習	研究内容について紹介し、討論する。	福山・堂上
11	研究発表演習	研究内容について紹介し、討論する。	福山・堂上
12	研究発表演習	研究内容について紹介し、討論する。	福山・堂上
13	研究発表演習	研究内容について紹介し、討論する。	福山・堂上
14	研究発表演習	研究内容について紹介し、討論する。	福山・堂上
15	総合討論	天然物化学・有機合成化学・分子生物学研究の展望と総括	福山・堂上

【教育資料・参考資料】

適宜、英語論文など。

【備考】 天然物化学教室に配属される大学院生は本演習科目を取得することが必須となります。

授業科目(英名)： 薬剤学 薬学演習 (Seminar in Pharmaceutics)

対象学年：1・2・3・4 年 通年 1 単位 計 4 単位 担当者：櫻井栄一・谷野公俊

(徳島)キャンパス：選択必修

【専門領域分野】医療・薬物療法分野

【授業概要】

大学院生が最新の英語論文を読み、その内容についてまとめて内容を発表・紹介する英語論文の紹介セミナーと、大学院生の研究内容についてまとめて発表する研究報告セミナーよりなる。

【養成したい人材像と履修目標】

分子薬物動態学に関する英語論文を読み、内容を的確に把握・考察できる人材の育成を目指す。また自分の研究内容を的確にまとめ、論理的にプレゼンテーションし尚且つ討論できる能力のある人材の育成を目指す。

【関連授業科目および連携】

「薬剤学 薬学専門研究」：薬剤学 薬学専門研究を通して得られる実践的な知識と本演習の学習内容が連携し、体系的な研究能力の獲得を目指す。

【評価方法】発表・レジメ・討論 (60%) および態度(40%)

【学習方法】英語関連論文のレジメ作成・発表・討論、研究内容のレジメ作成・発表・討論

【講義計画】

	項目	授業内容	担当者
1	薬物動態学英語論文演習	分子薬物動態学に関する最新の英語論文について紹介し討論する。	櫻井・谷野
2	薬物動態学英語論文演習	臨床薬物動態学に関する最新の英語論文について紹介し討論する。	櫻井・谷野
3	薬物動態学英語論文演習	テーラード医療に関する最新の英語論文について紹介し討論する。	櫻井・谷野
4	薬物動態学英語論文演習	血液脳関門に関する最新の英語論文について紹介し討論する。	櫻井・谷野
5	薬物動態学英語論文演習	肺微小血管内皮細胞に関する最新の英語論文について紹介し討論する。	櫻井・谷野
6	薬物動態学英語論文演習	ヒスタミンに関する最新の英語論文について紹介し討論する。	櫻井・谷野
7	薬物動態学英語論文演習	病態モデル動物に関する最新の英語論文について紹介し討論する。	櫻井・谷野
8	薬物動態学研究発表演習	大学院生本人の研究内容について紹介し、討論する。	櫻井・谷野
9	薬物動態学研究発表演習	大学院生本人の研究内容について紹介し、討論する。	櫻井・谷野
10	薬物動態学研究発表演習	大学院生本人の研究内容について紹介し、討論する。	櫻井・谷野
11	薬物動態学研究発表演習	大学院生本人の研究内容について紹介し、討論する。	櫻井・谷野
12	薬物動態学研究発表演習	大学院生本人の研究内容について紹介し、討論する。	櫻井・谷野
13	薬物動態学研究発表演習	大学院生本人の研究内容について紹介し、討論する。	櫻井・谷野
14	薬物動態学研究発表演習	大学院生本人の研究内容について紹介し、討論する。	櫻井・谷野
15	総合討論	分子薬物動態学研究の展望と総括	櫻井・谷野

【教育資料・参考資料】

適宜、英語論文など。

【備考】薬剤学教室に配属される大学院生は本演習科目を取得することが必須となります。

授業科目(英名)：公衆衛生学 薬学演習 (Public Health seminar)

対象学年：1・2・3・4 年 通年 3 単位 担当者： 鈴木真也 (徳島)キャンパス：必修

【専門領域分野】健康・高齢者医療分野

【授業概要】大学院生が最新の英語論文を読み、その内容についてまとめて内容を発表する英語論文の紹介セミナーと、大学院生の研究内容について、進捗状況をまとめて発表する研究報告セミナーよりなる。さらに、自分の研究に関連する特定のテーマについてレビューを行い、その分野における自分の研究の位置づけを考察する。

生命科学分野、特に肥満関連病態に関する英語論文を読み、データを的確に把握し、論点を理解し、総合的に考察できる能力を持った人材を養成する。

【養成したい人材像と履修目標】

抗肥満・抗糖尿病治療薬の創製戦略を考察できる研究者の養成

具体的到達目標：

- 1) 原著論文の **evidence** をもとに、事象の信頼度を考察できる。
- 2) 自身の研究の背景となる考え方を、自身の研究の方向付けに応用できる。

【評価方法】発表・レジメ・討論 (60%) および態度(40%)

【学習方法】英語関連論文のレジメ作成・発表・討論、研究内容のレジメ作成・発表・討論

【講義計画】

	項目	授業内容	担当者
1	英語論文紹介 1	関連論文の読解、参考図書による理解。教員との討論。研究内容の考察・発表・討論	鈴木
2	英語論文紹介 2	関連論文の読解、参考図書による理解。教員との討論。研究内容の考察・発表・討論	鈴木
3	英語論文紹介 3	関連論文の読解、参考図書による理解。教員との討論。研究内容の考察・発表・討論	鈴木
4	総説レビュー 1	自身の研究テーマに関連するレビュー報告 その 1	鈴木
5	プロGRESSセミナー 1	自身の最新の研究内容について紹介し討論する。その 1	鈴木
6	英語論文紹介 4	関連論文の読解、参考図書による理解。教員との討論。研究内容の考察・発表・討論	鈴木
7	英語論文紹介 5	関連論文の読解、参考図書による理解。教員との討論。研究内容の考察・発表・討論	鈴木
8	英語論文紹介 6	関連論文の読解、参考図書による理解。教員との討論。研究内容の考察・発表・討論	鈴木
9	総説レビュー 2	自身の研究テーマに関連するレビュー報告 その 2	鈴木
10	プロGRESSセミナー 2	自身の最新の研究内容について紹介し討論する。その 2	鈴木
11	英語論文紹介 7	関連論文の読解、参考図書による理解。教員との討論。研究内容の考察・発表・討論	鈴木
12	英語論文紹介 8	関連論文の読解、参考図書による理解。教員との討論。研究内容の考察・発表・討論	鈴木

13	総説レビュー3	自身の研究テーマに関連するレビュー報告 その3	鈴木
14	プログレスセミナー3	自身の最新の研究内容について紹介し討論する。その3	鈴木
15	まとめプログレスセミナー4	自身の最新の研究内容についてまとめ、学会発表および論文投稿のために必要な考察、討論を行う。その2	鈴木

【教育資料・参考資料】

必要に応じて、プリントなどを配布

【備考】

授業科目(英名)： 反応有機化学 薬学演習 (Seminar in Organic Chemistry)

対象学年：1・2・3・4年 通年1単位 計4単位 担当者：角田 鉄人・加来 裕人

(徳島)キャンパス：選択必修

【専門領域分野】医薬品開発・高度医療分野

【授業概要】

学位(薬学博士)取得のための基本的な素養としての有機合成化学関連の専門知識を習得するために、最新の英語論文を読み、その内容をまとめて発表する英語論文の紹介セミナーを行う。また、研究内容についてまとめて発表する研究報告セミナーにより、自らの研究の意味を理解し、説明できる力を養う。

【養成したい人材像と履修目標】

有機化学全般に関する学術論文を読み、内容を的確に把握し、批判的に考察できる人材の育成を目指す。また自分の研究内容を的確にまとめ、論理的にプレゼンテーションし尚且つ討論できる能力のある人材の育成を目指す。全体を通して科学的な分析力、問題解決能力を備えた人材の育成を目指す。

【関連授業科目および連携】

「反応有機化学 薬学専門研究」:有機化学の専門的研究を通して得られる実践的な知識と本演習の学習内容が連携し、体系的な研究能力の獲得を目指す。

【評価方法】発表・レジメ・討論(60%)および態度(40%)

【学習方法】英語関連論文のレジメ作成・発表・討論、研究内容のレジメ作成・発表・討論

【講義計画】

	項目	授業内容	担当者
1	有機化学論文演習	有機化学に関する最新の英語論文について紹介し討論する。	角田・加来
2	有機化学論文演習	有機化学に関する最新の英語論文について紹介し討論する。	角田・加来
3	有機化学論文演習	有機化学に関する最新の英語論文について紹介し討論する。	角田・加来
4	有機化学論文演習	有機合成化学に関する英語論文について紹介し討論する。	角田・加来
5	有機化学論文演習	有機合成化学に関する最新の英語論文について紹介し討論する。	角田・加来
6	有機化学論文演習	天然物化学に関する最新の英語論文について紹介し討論する。	角田・加来
7	有機化学論文演習	分子認識化学に関する最新の英語論文について紹介し討論する。	角田・加来
8	有機化学研究発表演習	大学院生本人の研究内容について紹介し、討論する。	角田・加来
9	有機化学研究発表演習	大学院生本人の研究内容について紹介し、討論する。	角田・加来
10	有機化学研究発表演習	大学院生本人の研究内容について紹介し、討論する。	角田・加来
11	有機化学研究発表演習	大学院生本人の研究内容について紹介し、討論する。	角田・加来
12	有機化学研究発表演習	大学院生本人の研究内容について紹介し、討論する。	角田・加来

13	有機化学研究発表演習	大学院生本人の研究内容について紹介し、討論する。	角田・加来
14	有機化学研究発表演習	大学院生本人の研究内容について紹介し、討論する。	角田・加来
15	総合討論	有機化学研究の展望と総括	角田・加来

【教育資料・参考資料】

適宜、英語論文など。

【備考】 反応有機化学教室に配属される大学院生は本演習科目を取得することが必須となります。